

オプトアウト資料

中心静脈ライン関連血流感染（CLABSI）予防における 3M™ テガダーム™ CHG ドレッシングの効果検証研究について

1. 研究の目的:

当院では、中心静脈ライン関連血流感染（CLABSI）の増加傾向と、それに伴う医療費の増大および入院期間の延長という現状を踏まえ、CLABSI 感染率の低減に有効とされる 3M™ テガダーム™ CHG ドレッシング（以下、本製品）の導入効果を検証する研究を実施いたします。本研究は、本製品の導入が CLABSI 感染率の低減にどの程度効果があるかを検証し、その費用対効果を評価することを目的としています。これにより、より効果的な院内感染対策を確立し、患者様の安全性の向上、医療費の削減、入院期間の短縮に貢献することを目指します。

2. 研究期間:

倫理審査委員会（研究倫理部会）承認日～サンプル数が揃い、分析結果から本製品採用の可否判定まで

3. 研究の対象となる方:

2025 年 7 月から 2026 年 6 月の期間に、当院の ICU、3 東、3 西、SCU、5 東病棟において、中心静脈ライン（CVC、FDL、PICC）を挿入された患者様。

※サンプル数が不足する場合は、2026 年 7 月 1 日以降のデータを活用します。その際は、本製品の使用期間と未使用期間は同一となるようにデータを収集します。

4. 研究の方法:

本研究は、過去の診療記録（カルテ情報）を用いて行われる「後ろ向き研究」です。具体的には、2025 年 7 月～12 月の期間と、本製品を使用した 2026 年 1 月～6 月の期間において、中心静脈ラインを挿入された患者様の CLABSI 感染率を比較します。この比較を通じて、本製品の使用が CLABSI 感染率の低減にどの程度貢献したかを評価します。

研究に使用する情報は、CLABSI の発生状況、追加治療にかかった費用、入院期間など、患者様の診療に関する情報です。これらの情報は、個人が特定できないように匿名化され、統計的に処理されます。

5. 個人情報の保護について:

本研究で収集する情報は、患者様のプライバシー保護に最大限配慮し、個人が特定できないように匿名化処理を行います。研究結果が公表される場合も、個人が特定できる情報は

一切含まれません。収集されたデータは厳重に管理され、研究目的以外には使用されません。

6. 本研究へのご協力について（オプトアウト方式）：

本研究は、既存の診療データを用いるため、患者様への直接的な介入や新たな医療行為は伴いません。そのため、個別の患者様から直接的な同意はいただきませんが、本研究の対象となる患者様で、ご自身の診療情報が研究に使用されることを希望されない場合は、その旨をお申し出いただくことで、研究対象から除外することができます。これを「オプトアウト」と呼びます。

オプトアウトを希望される場合:

本研究に関するご質問や、ご自身の診療情報が本研究に使用されることを希望されない場合は、お手数ですが、下記までご連絡ください。ご連絡いただいた場合でも、患者様が不利益を被ることは一切ございません。

7. 研究に関するお問い合わせ先:

[病院名]小樽市立病院

[部署名]感染防止対策室

[担当者名]森 八重子

[電話番号]0134-25-1211

[受付時間]平日 9:00～16:30

本研究は、小樽市立病院倫理委委員会の承認を得て実施されます。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。